

## 理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：柴田 信之

所属：柳川市立昭代第一小学校

課題名：掘割に学ぶ環境教育の進め方

### 1. 課題の主旨

本校(柳川市)は、校区の南部が有明海に面した干拓地を有し、掘割と田圃に囲まれたのどかな地域であるが、近年は上水道や農業用埋設水路が整って掘割が汚される一方であった。

そこで、これからの地域を担う子どもたちに掘割を通した環境教育を行うことで、地域の歴史や生活を見直させ、自然と共生できる豊かな心を育成することを目的に本課題に取り組んだ。

### 2. 活動状況

平成17年12月 掘割学習の課題別追求方法検討会

平成18年1月 掘割の歴史と働きについての調査・教材研究

4月 社会科学習における環境教育の関連づけ構想検討

5月 総合的な学習の時間における「掘割探検」計画作成

6月 総合的な学習の時間における「掘割探検」の調査項目の整理

8月 総合的な学習の時間における「掘割探検」の具体的な活動計画作成  
環境教育推進に伴う学習環境整備————掘割水族館

9月 グループ別課題追求

- ・第4学年社会科学習「水のゆくえ」指導開始————(講師)地域活動者招聘
- ・ダム見学～浄水場見学～配水場見学
- ・課題別掘割探検

10月 掘割清掃活動————掘割周辺の清掃活動

課題別調査のまとめ

11月 掘割と柳川の生活を考える————川下り体験学習

### ○ 指導内容 (20時間)

欄	活動内容	ねらい	育てる力
見学 (2)	○学校周辺の掘割を見学し掘割に詳しい方から話を伺う。	・日頃見慣れている「掘割」について新たな視点から見つめることができる。	身近な自然事象に関心を持つ
計画 (2)	○市内に掘割が多いことから調べる計画を立てる。	・掘割の役目や歴史、暮らしとの関係を調べようと言う課題を作ることができる	課題を見つけ解決していく力
調査方法 (2)	○課題別に調べる。 ・働き・歴史・生き物・生活との関係・問題点 ○いろいろな方法で調べる ・聞き取り・インターネット ・社会科見学：ダム、浄水場	・掘割について、自分の課題に沿って調べることができる。 ・課題解決につながるいろいろな方法で調べることができる。 ・矢部川源流と比べることができる。 ・社会科「水のゆくえ」と関連づけた調査	関心を持って解決する力 ・取材やアンケートの仕方 ・インターネットの活用力
調査	○昔の人々の生活を調べる。 ・昔の道具を調べる。 ・昔の暮らしと今の暮らしの	・掘割周辺のゴミ拾いをし、自分たちにもできる環境保全の方法を知る。 ※社会科学習との関連	考えた方法で解決しようとする力

(8)	<p>違いを調べる。</p> <p>○掘割に棲む生き物について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の種類を調べる。</li> <li>・生き物と人々の暮らしの関連を調べる。</li> </ul> <p>○水の行方調べ(社会科)と関係づけて調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを分別し、ゴミの行方を調べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを活かし分別する。</li> </ul>
清掃 (3)	<p>○掘割と強制するために自分たちで地域をきれいにする方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「クリーン大作戦」を展開1週間</li> <li>・掘割に面した通学路の除草作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掘割を守る方法として、地域に落ちているゴミなどをなくすことが必要であることに気づき実践することができる。</li> <li>・ゴミを拾う大切さ</li> <li>・ゴミを捨てない大切さ</li> <li>・人々が安全に往来できる掘割近くの道路の整備(除草作業)</li> </ul>	<p>実践する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちにできることの確認</li> </ul> <p>・計画的な取り組み</p>
発表 (2)	<p>○掘割について調べたことや分かったことを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掘割探検隊発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことや分かったことを分かりやすく発表する。</li> <li>学校全体や家庭への発信</li> </ul>	<p>分かりやすく伝える力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や方法</li> </ul>
保全 (1)	<p>○これから掘割を守っていく方法について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掘割を守るためには、清掃も必要だが、汚さないことがもっと大切であることに気づき実行する。</li> </ul>	<p>環境破壊をしない積極的な見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方</li> </ul>

### 3. 結果

<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年児童だけでの活動であったが、社会科との関連を図っていったため、水の大切さと昔からの地域の生活に児童の視点が絞られた。その結果、水や掘割の役目を考えて有効に使おうとする見方と「汚さない」(保全)という見方を育てることができた。</li> </ul>
--

### 4. 今後の課題と発展

<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掘割の「清掃」となると、どうしても掘割に入ってきてきれいにしたいと子どもたちは言い出した。掘割の規模は広すぎるので、児童の安全面を考慮し、更に地域の協力も必要になってくるので児童の気持ちを大切にしながら活動範囲を絞り込むことが必要である。そのため、今年度は掘岸の除草作業だけで掘割の中の清掃は実施できなかった。</li> </ul>
---

### 5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

- ・取り組み期間が平成17年度から平成18年度に渡っていたのに対し、校長をはじめ関係のスタッフが転勤や担任替えのために入れ替わり、計画的な取り組みが難しかった。そのため、児童の研究のまとめが終了しないままの報告になってしまった。できれば、4月から3月までの「年度」を考慮した取り組みで実施できるように財団の方で工夫して欲しい。